

平成20年7月22日

古紙配合率問題検討委員会  
委員長 関口 裕

## 古紙配合問題に係わるアンケートの結果

再生紙の配合率検証および表示に関する当委員会指針が、7月1日より正式運用となった。第一回のフォローアップとして会員各社に対しアンケートを実施したので、その結果を報告する。

### 1. 対象および回答数

会員38社を対象とし、33社より回答があった。特に、再生紙を製造する17社からは全て回答を受けた。

### 2. 実施月日

平成20年7月15日を回答期限とした。

### 3. 各社の運用状況

- 1) 検証制度は概ね順調にスタートしている（板紙メーカーでの導入は一部に限られている）。また、多くの会員が再発を防止する社内管理体制を構築しており、各社ホームページ等でこうした取り組みを対外的に周知するよう依頼した。
- 2) 複写機メーカーを含む直接取引先による立ち入り監査は、試行期間中を含め10社（総件数は33件）が受けており、特に問題はなかった。
- 3) 配合率を併記する再生紙の表示は、順次スタートしている（流通在庫等あるが、指針に準じた表示に遅からず切り替わるものと考えている）。
- 4) 内部監査については、正式運用が始まったばかりであり、計画中とする会員が多かった。

### 4. 今後の予定

今後も当委員会として定期的にフォローアップを行う。

以上